

No.637 (改題597号)
2024年
1月24日(水)合併号

新社会兵庫



週刊 新社会

発行所: 新社会党

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三成工業ビル3F
TEL. 03(6380)9960 FAX. 03(6380)9963

新社会党兵庫県本部 神戸市中央区中山手通5丁目2-3 ☎078(361)3613 FAX078(361)3614 毎月第2、第4水曜日発行 購読料月400円(1部200円)郵便振替:01120-7-16805

2024

軍拡・増税から「命と暮らし最優先」の政治への転換を 市民と野党共闘の再構築で腐敗と不実の岸田内閣打倒



(時計回りに)「ガザ地区での戦闘の即時停止」を求めるスタンディング11月7日、J.R.元町駅前▼5・3兵庫憲法集会11月3日、みなとのもり公園▼大阪での脱原発集会12月3日、大阪・うつほ公園▼社民党と新社会党の合同街宣11月18日、J.R.元町駅前(いずれも2023年)

腐りきった政治を終わらせよう 「護憲の第3極」づくりで野党共闘の前進を



新年のごあいさつ

新社会党兵庫県本部

委員長 あわはら 富夫

(神戸市会議員)

2024年を迎え、新年のごあいさつを申し上げます。

元旦に私の出身地である能登半島に最大震度7の大地震が発生し、甚大な被害がひき起こされました。迅速な救援、復旧支援が求められているところですが、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

世界では、ロシアのウクライナへの戦争は続き、パレスチナのガザ地区ではイスラエル軍によるジェノサイドが止まない。戦争は結局、普通の人の暮らしを奪ってしまうことが改めて誰の目にも明らかになった。「正しい戦争」などあり得ない。戦争をいかに避けるかが安全保障の基本になるべきであり、そのためには、近隣諸国との友好を日常からしっかりと図ることが求められる。しかし、岸田政権はどうだろうか。

昨年には安保三文書を改定し、敵基地攻撃能力の保有やこの5年間で43兆円もの軍拡予算を編み、その財源を増税に求めるなど、近隣諸国との緊張をつくり出す政策を選択した。不断の努力で恒久平和を求める「憲法の精神」とは大きく矛盾するものだ。

岸田政権は、支持率の回復をねらい所得減税を打ち出したが1年だけ、その後は軍拡増税だ。「ちへは」政策の羅列で低支持率はさらに降下した。

そこに、自民党閣僚級議員のパーティ券での裏金作りを検査の捜査が入り、

とうとう自民党議員の逮捕者が出るという異常な事態になってきた。

今問題になった政治資金規正法は、リクルート事件をきっかけにして政治家と企業の癒着を断ち切るためにできた法律で、小選挙区制度、政党助成金制度を含めた「政治改革」4法と言われたものである。この「政治改革」4法は、政治家への企業団体の寄付は規制するとしながら、政党・政党支部には寄付できるという「ざる法」だ。それから30年、政治と政党は劣化し、企業・団体献金は受け取り放題、それにパーティ券で裏金づくり、そのうえ政党交付金だから、まさに「盗人に追い銭」と言わねばならない。当時、小選挙区制度は民意を反映せず、政党交付金制度は政党を劣化させると、この「政治改革」4法に反対した「青票」議員たちは、マスコミからのも含め、「政治改革」を否定する「守旧派」と呼ばれ、バッシングを受けた。

この青票議員が新社会党の源流である。青票議員たちの主張が正しかったことが、30年の時を経て明らかになってきた。こんな腐りきった政治に対処できるのは新社会党だ、との自信を持つ。今年、衆議院選挙が遠からず行われる。野党共闘はなかなか進んでいない現状だが、新社会党が市民も巻き込んだ「護憲の第3極」づくりにまい進し、力を合わせて将来に希望を抱ける1年にしよう。

水脈

いまや自民党は不正な政治の力ネの塊である。派閥を禁止せよという幻想に近い

い声も聞かぬ。しかし、派閥を生む仕組みと政治の犯罪的力ネは結びついていて、長い間、自民党の派閥に良からぬ犯罪的政治資金はつきものである。しかし、わずかに「希望的なもの」を見出すとすれば、派閥はその悪銭を使おうとする「政治的理想」を持っていて、いままや理想らしき政見を持って国民を引きつけようとする政治家は、自民党には一人もいないだろう。▼自民党や政権内で自分の存在感を示そうとするれば「力ネ」以外に何かある、とうそぶく政治家ばかりだろう。政治家が強い絆を持って国民と結びつこうとする理想を語るしかないが、力ネの前に、権力の前には、理想の価値を見出す政治家はいないだろう。力ネの理想の輝きを感じる自民党はいないだろう。▼自民党が信頼を取り戻すことは至難な業かもしれない。自民党の信頼が地に墮ちるのを見て、私たちはいい気持ちになってばかりではいけない。私たちは今こそ働く仲間を取り戻さなければならぬ。▼たとえ私たちの候補者はなくとも、有権者の絆を編み出し、働く仲間の信頼を、次のたまたかの芽を、急いで育てなければならぬ。

2024年・年頭に思う

私の主張

私の主張

地震大国・日本に原発はいらない



脱原発はりまアクション

菅野逸雄

2024年は元日から悲しい出来事が続いた。1日夕方には、震度7を最大とする能登半島地震が発生。9日現在で202人の方が亡くなった(安否不明102人)。その翌日には羽田空港で飛行機衝突事故が起きた。

私は、2010年3月の退職を機に、労働運動から市民運動にスタンスを移した。まず、「憲法を生かす加古川・稲美・播磨の会」結成に関わり、翌2011年3月の東京電力福島第一原発事故を機に「脱原発市民運動」に重点を移し、今に至っている。

筆々と闘っている。

私は原発最優先政策を変えるために住民運動で闘っている。今の政治を動かしているのは、自民党であり、それを裏で操っている独占資本(原発マフィア)だ。原発をなくすためにも社会を変える運動と繋がっていかなくては思っている。

てきた。すべて、2011年3月11日までは「普通の市民」だったが、事故後、避難せざるを得なくなり全国各地に避難された。その避難先では保護されるどころか、「放射能が伝染する」「放射能(見えない)が怖いのか」などと非難された。しかし、避難者はくじけることなく多くの裁判の原告として立ち上がり、東電・政府を相手に

労働運動の分野では、昨年、西武百貨店労組が61年ぶりのストに決起し、「共感」も得た。権力の座にある自民党はいまや腐敗の頂点に達している。これら全ての運動が融合して「社会変革」につながれば、厳しい局面も変わり、働く者・庶民が中心で原発もない社会を作れると思う。

政権を追い詰める野党の結束を



学生

梅垣知隼

年末から年頭にかけて、収支報告書に派閥からのキックバックを記載しなかったとして、自民党に所属していた現職の国会議員が逮捕されるという事件が起こり、昨年同様岸田内閣の支持率の下落は未だに歯止めがなかったという状況にある。

この政治とカネの問題などをきっかけとして、昨年の臨時国会では松野官房長官(当時)と内閣の信任案が提出され、結果として日本共産党やれいわ新選組から日本維新の会、国民民主党までの自民、公明の政権与党以外の全ての党派が足並みを揃えることができた。

もちろん維新や国民民主の政策や姿勢はともかくとして、内閣支持率が長期にわたって下落傾向にあり、その上

「女性会議ひょうご」

丸山裕子



学校文化の「当たり前」を見直す

小学校の特別支援学級担任として6年ぶりに学校現場に立った。全校20クラスの学校に支援学級が5クラス、30人の支援学級在籍者がいる。今、全国どの学校も同様に特別支援対象児童生徒が増加をたどっている。「早期発見」「早期治療」の掛け声のもと、「発達障害」「グレーゾーン」とチェックされ、早くから「療育」「特設」のコースが敷かれ、小学校入学の時点ではっきり分離されていく流れがきている。

こういう実態を目の前にして、「これって違う!」という強い思いを感じてきた。

そして今、担任する8人の子もたち全員を通常学級の一人として登校から下校まで過ごす取り組みを進めている。学年も特性も違う8人の子もたち

「女性会議ひょうご」

ちに「少数でいていい指導」などありえない。この子たちが、まわりの子とのつながりを作りながら生きていく力を伸ばすにはこれしかないという確信もあった。学校全体で、インクルーシブ教育を進めようという共通理解もないなかでの取り組みである。だから、子どもたちを受け入れる、いわゆる「交流学級」担任とのつながりを何よりも大切にしている。「この子たち、こんなふうにつながっているよ」「こんなフォローをしてくれるよ」という子どもたちの様子をラインで送ったり、その学級の子全体に目を配りながら気が付いたことを交流したりしながら、みんなの中で育つことの大切さ、分け合ってしまうことの理不尽さを共有できてきているかと思う。少しでも「共に育

つ」「場を分けない」「教育へと舵を切る足がかりを残していきたいと思っっている。

さらに踏み込めば、「ともに育つ場」の通常の学級がどうなっているか。そこにさらに大きな課題がある。道徳が教科化され、学力テストが始まり、英語、タブレット……、近年の変化だけではなく、厳然とある「できる、できない」の価値観、私自身もしぼられ苦しんできた学校文化のしぼりである。

「きちんと」「早く」規則を守るということが常に要求される。子どもたちは、どうすればほめられ、どうすれば叱責されるかを見ながら学校生活の秩序を身に付けていく。苦しい。こんな評価にさらされながら、汲々としている教師



動物園の観覧車から摩耶山方面を望む。予定の王子動物園の観覧車から摩耶山方面を望む。写真右側のエリアに大学が建設されるとこの景観もなくなってしまう(6面参照)

私の主張

2024年・年頭に思う

体で政権与党をさらに追い詰めていくようにしていかなければ、国民の不満に込めるのは難しいだろうと思っ。その上で、われわれ新社会党の党勢を拡大させ、理想とする社会を作るためのロードマップもしっかりと作っていかねばならない。例えば、われわれの党である「非武装中立」も、イスラエルとハマスの武力衝突やロシアによる侵略戦争が続いている今、ただただ「私たちが丸腰になりましょう」だけでは説得力を持たない。この国に任んでいる人たちが、海外に居る国民に危害が及ばず、周辺の国と良好な関係を保ちつつ「非武装中立」という到達点に至るまでの過程を今の時代に合わせ作り上げなければ受け入れられるのは困難を極める。

でスタンスが違つてであろう政党が全て政権に「NO」をしっかりと突きつけることができる状況にある。

そうした状況で、閣僚や副大臣、政務官を出していない「野党」である政党を自民、公明と並べて「悪政連合」と揶揄することが、果たして政権に「NO」を突きつけるべしという傾向となつている世論の声に本心に込めることに繋がるのだろうかと思うことが多々あった。そうした状況を踏まえてどこまで協力するのかがということは議論の余地があつて然るべきだろうが、スタンスは違えど、政権及び与党の自民、公明と対峙する政党への批判は自分達もであるが、他の全ての党派も抑えて、岸田内閣に対して立ち向かう体制を構築し、現政権に反対する党派全

も同じように苦しんでいる。こういう「学校の当たり前」を見直しませんかと、昨秋、元教員仲間と子どもファーストの取り組みを紹介する映画「夢みる小学校」上映会を企画した。130人の参加があり、「小さな一歩でも学校を変えていこう」という

話し合いもできた。残念ながら現役の先生の参加は少なく、現状を見直すことの難しさを痛感しているが、しかし、できることから、声をあげられることから、一歩ずつ今年も歩みを進めていきたいと思っっている。

(小学校臨時講師)

「戦争をさせない」。市民生活を人間らしくする政治へ

岡崎ひろみ委員長



新社会党中央執行委員長

岡崎 ひろみ

新年の幕開けを、一強政権を長く続けた自民党政治の腐敗、組織ぐるみの裏金作りがあらさるようになる中で迎えた。検察人事に介入してでも居座り続けた自民政権を終わらせるために、市民と野党が力を合わせ、きたるべき総選挙、参議院選挙をたたかおう。

私たちが取り組む基本は、「戦争をさせない」こと

「憲法審査会」は、憲法改正原案、憲法に係る改正の発議等を審査する機関である(国会法102条)。2007年8月、衆参各議院に設置された。

とに尽きる。憲法を改悪させないことだ。押し進められる軍事予算の肥大化を止め、何より市民生活を人間らしくする政治に変えることである。「アメリカとの約束」「同盟国間の協力」を盾に、「国のかたち」に関わる方針を閣議決定し、形ばかりの国会議論と与党による多数決によって、戦争する国へと舵を切る非民主的な政治は許せない。

かつて、国民に「黙って従う生き方」を教え込んできた戦前の時代を、私たちは歴史に学んできた。侵略戦争を植民地支配からアジアを解放するためだと繰り返した政府。天皇に絶対忠誠を誓い、死んで奉公の思想を教育された子どもたち。家長長制の下、家庭内でも家長に従う道徳に浸された国民。こうした一切合切を無かったことにする歴史観に裏打ちされた安倍政治を、今は岸田政権が引き継いでいる。一昨年の参議院選挙を機に、本

部はジェンダーについて、兵庫でもハラスメントを自分たちの問題として学習するようになったが、戦前の国民支配の根幹にある家制度や家長長制が、現代社会でも性差別、世帯単位の制度等を通して格差と貧困、貧弱な社会保障、自己責任社会を形成していることを理解してほしいと考える。

ロシアのウクライナ侵略を例に、中国による台湾武力侵攻があるかのようになり、「武力による平和」を正当化する政治を許せない。ガザの悲惨な状況が終わらせるのは、為政者の謀を超えて武器を捨てるところからしか始まらない。「非武装中立」は空想ではなく、実現するための政治の覚悟と努力が必要なのだ。イスラエルによるジェノサイドを容認するアメリカ、世界の支配者でありたいアメリカから求められるままに、戦争する国へと踏み出す政策に舵を切った岸田政権を終わらせるために、基地も武装も必要だと伝える努力である。

生きつらさを抱える人が増えている。対症療法対策では解決しない。急集会を定める(憲法54条は、民意を反映していない政府がそのまま政権の座に居座り続けることのないようにという考慮から)と強調。戦前の反省から「緊急事態」に反響した国家権力の暴走を防ぐための仕組みである。

岸田首相は、「9月までの任期中の改憲実現」を繰り返して明言している。「国会発議に向け、改憲の条例案づくりの議論を加速させるべきだ」とまで踏み込んだ。

首相の意向を忖度して、自民党は昨秋の臨時国会における衆参の最後となった憲法審査会に、緊急事態条項などの改憲案を作成するため、1月末にも予定される通常国会で作業部会を設置することを提案した。維新の会と国民民主党も同調。また、民間団体「美しい日本の憲法をつくる国民の会」(共同代表・櫻井よしこ氏)なども改憲の旗を振っている。

立憲野党は「多くの国会で作業部会を設置することを提案した。維新の会と国民民主党も同調。また、民間団体「美しい日本の憲法をつくる国民の会」(共同代表・櫻井よしこ氏)なども改憲の旗を振っている。

民は改憲を望んでいない。とも条文案をまとめる状況にない」と、改憲勢力の極めて危険な動きを阻むため全力で対峙する。院外での改憲阻止の大衆運動を盛り上げていこう。中西裕三(憲法を生かす会・東灘 代表)

改憲5会派は緊急事態条項を突破口に 改憲条文作成に前のめり

衆参憲法審査会の動きを見る

「憲法審査会」は、憲法改正原案、憲法に係る改正の発議等を審査する機関である(国会法102条)。2007年8月、衆参各議院に設置された。

しかし、改憲への役割を担っている憲法審査会は、改憲勢力の思惑通りに動くことができなかった。憲法改悪反対(とりわけ9条改憲反対)の世論と立憲野党の奮闘などによって、衆参憲法審査会の実質的な議論がスタートしたのは2011年11月に入ってからであった。共産、社民両党は憲法審査会の設置そのものに反対した。

その後の憲法審査会の議論を見ると、改憲の本丸が前文と9条であることとは言うまでもない。自

民改憲案には、非常事態への対処を理由に国会を通さず法律と同一の効力を有する政令の制定が盛り込まれている。政府が国会の立法権を侵すことにより、憲法を内閣に集中させることにより、人権制限を容易にし、立憲

急集会を定める(憲法54条は、民意を反映していない政府がそのまま政権の座に居座り続けることのないようにという考慮から)と強調。戦前の反省から「緊急事態」に反響した国家権力の暴走を防ぐための仕組みである。

岸田首相は、「9月までの任期中の改憲実現」を繰り返して明言している。「国会発議に向け、改憲の条例案づくりの議論を加速させるべきだ」とまで踏み込んだ。

首相の意向を忖度して、自民党は昨秋の臨時国会における衆参の最後となった憲法審査会に、緊急事態条項などの改憲案を作成するため、1月末にも予定される通常国会で作業部会を設置することを提案した。維新の会と国民民主党も同調。また、民間団体「美しい日本の憲法をつくる国民の会」(共同代表・櫻井よしこ氏)なども改憲の旗を振っている。

立憲野党は「多くの国会で作業部会を設置することを提案した。維新の会と国民民主党も同調。また、民間団体「美しい日本の憲法をつくる国民の会」(共同代表・櫻井よしこ氏)なども改憲の旗を振っている。

民は改憲を望んでいない。とも条文案をまとめる状況にない」と、改憲勢力の極めて危険な動きを阻むため全力で対峙する。院外での改憲阻止の大衆運動を盛り上げていこう。中西裕三(憲法を生かす会・東灘 代表)

歴史的愚行・蛮行を許すな

辺野古軟弱地盤工事着工に強く抗議し即時中止を求める

子どもの貧困、少子化、DV、不登校、労働者の疲弊等々に通底する「人間の権利」を軽視した制度を変える「具体的な権利要求」をもとに、多くの人たちと連帯してこの

防衛省は1月10日、沖縄・辺野古北側の大浦湾で軟弱地盤の改良工事に着手、石材の海中への投入を始めた。

沖縄県が改良工事のための設計変更を認めなかったため、国が知事の権限を奪う形で県に代わって承認を代行するという強行手段からまだ2週間も経たないなかでの工事の強行である。

政府は「丁寧な説明を続ける」と言い続けてきたが、今回も事前の協議はなく、当初予定されていた12日の着工を前倒し

しての強行となった。玉城知事が「丁寧な説明」とは真逆の極めて乱暴で粗雑な対応だ」と批判するのも当然だ。

私たちは着工に強く抗議するとともに、工事を即刻中止し、沖縄県との

話し合いを持つことを政府に求める。工期は9年3カ月が見込まれており、最深で90メートル、約9300億円にのぼる。まさに非現実的で、歴史的な愚行であり、蛮行だと言わねばならない。

使用開始までは12年かかると言われており、総工費も当初見込みの約2・7倍、約9300億円にのぼる。まさに非現実的で、歴史的な愚行であり、蛮行だと言わねばならない。

改憲の動きをウォッチング

「平和国家」の理念を輸出政策を大幅に転換し、ミサイルや弾薬など殺傷能力のある武器輸出を解禁した。

「主権改定内容」

「平和国家である日本が持つ武器が人が死ぬのはおかしい。というのが、世の中の大多数の意見だったはずだ」。2014年に安倍政権が廃止した武器輸出3原則は「戦争放棄や戦力の不保持を定めた憲法9条の具体化したもの」と理解されてきたと思われ、青井未帆・学習院大学教授(憲法学)は朝日のインタビューで語っている。

「武器輸出3原則」を廃止した安倍政権は2014年、「防衛装備移転3原則」とその「運営方針」(以下「3原則」といふ)を決定し、憲法に基づき武器輸出を原則禁止していた「武器輸出3原則」を180度転換した。

自民、公明両党は、武器輸出の大幅な拡大に向けて、「3原則」の見直しを協議し、政府に提言した。政府は国民への説明もなく、国会を通さずに昨年12月22日、「3原則」の改定を強行した。武器

輸出政策を大幅に転換し、ミサイルや弾薬など殺傷能力のある武器輸出を解禁した。

「主権改定内容」

「平和国家である日本が持つ武器が人が死ぬのはおかしい。というのが、世の中の大多数の意見だったはずだ」。2014年に安倍政権が廃止した武器輸出3原則は「戦争放棄や戦力の不保持を定めた憲法9条の具体化したもの」と理解されてきたと思われ、青井未帆・学習院大学教授(憲法学)は朝日のインタビューで語っている。

「武器輸出3原則」を廃止した安倍政権は2014年、「防衛装備移転3原則」とその「運営方針」(以下「3原則」といふ)を決定し、憲法に基づき武器輸出を原則禁止していた「武器輸出3原則」を180度転換した。

自民、公明両党は、武器輸出の大幅な拡大に向けて、「3原則」の見直しを協議し、政府に提言した。政府は国民への説明もなく、国会を通さずに昨年12月22日、「3原則」の改定を強行した。武器



憲法審査会の光景

世界で最初に飢えるのは日本 日本の食の未来を考える

鈴木宣弘さん講演要旨抄録①



【鈴木宣弘さん略歴】東京大学大学院農学生命科学研究科教授。「食料安全保障推進財団」理事長。1958年生まれ。三重県志摩市出身。東京大学農学部卒。農林水産省に15年ほど勤務した後、学界に転じ、2006年9月から現職。

なぜ日本の自給率は低くなったのか

今、日本の食の安全保障は大丈夫なのか、日本の自給率は低すぎないのかという議論がされているが、そもそもなぜ日本はこのように自給率の低い国になってきたのか。

それを考えるいくつかのポイントをまとめてみた。一番大きいのが戦後すぐのアメリカの占領政策だ。アメリカは戦争の後、農産物がたくさん余った。この処理先の対象となったのが日本だ。日本人に余った農産物を食べさせるために徹底的に日本の米以外の農産物の関税が撤廃されてきた。アメリカの大豆、トウモロコシで日本の生産は壊滅し、アメリカに大きく依存するようになった。

さらに、日本人が米を主食として食べていると小麦は食べてもらえないとアメリカは考え、学者の回し者まで使って「米を食うと馬鹿になる」という本まで書かせてそれが大ベストセラーとなった。私たちは食生活改善という名で、実質的にはアメリカに都合のいいように日本人の食生活が改変されていくような洗脳政策が行われた。これらが功を奏し、日本人はアメリカの食料にどんどん依存していく。

それを助長するのが日本側の経済政策で、経産省を中心立てられた経済政策だ。アメリカを喜

ばすには農産物の関税をどんどん撤廃すればいい。その代わりに日本の自動車の輸出を伸ばして、それでお金さえ出せば食料なんていつでも買えるんだと考えた。それが食の安全保障だとの考えが主流になってきた。

もう一つの問題は財務省。税金はいっぱい取るがそれをどこに使っているのか。1970年度で農水予算は1兆円近くあった。防衛予算の2倍くらい。50年近く経って農水予算は2兆円ちょっと。これ以上出せないと言われ、実質減らされている。

一方、防衛予算はどんどん膨らみ、今や関連を含めると10兆円を超えている。もう一つ、エネルギーの問題を考えてみると、太陽光などの再生エネルギーの買い取りで事業者に支払われる金額が4・2兆円。それだけで農水予算の2倍だ。

ちょっとおかしくないか。アメリカでは軍事・食料・エネルギーが国家存立の3本柱と言われ、その中でも要と言われるのが食料だ。だが、それがどんどん削られているのが日本の特徴だ。

危うい日本の「食料安全保障」

こんなことをやっている日本は、農業はほとんど苦しくなる。輸入はさらに増え、自給率がさらに落ちる。これで今のような状況に耐えられるのか。

世界で食料争奪戦が高まっている。コロナショックもあり、中国の爆買いがすごい。日本が買っていくつも残っていない。中国の方が高いものを高い価格で大量に買い付け、穀物が十分に供給できないとエサの価格が2倍近くまで上がって、農家がバタバタ倒れている。さらに困ったことに、化学肥料の問題だ。日本は化学肥料の原料ほぼ100%を輸入している。中国に頼っていたら、中国がもう自国の需要が増えたら売らないと言いはじめた。また、カリウムを依存しているロシア、ベラルーシも売らない。

これによって日本もエサの値段以上に肥料の価格が上がって農産物が作れず廃棄までできている。日本の農業では普通に化学肥料を使う農業が99・4%のシェアを占めている。そういう農業自体がどこまでやっていけるのかということが問われているのが今の時代だ。中国の爆買いはいかにすごいのか。トウモロコシの輸入は2016年と比べれば最近ではケタが1つ違い、短期で10倍増えている。

輸入は多いが、今年年間1億トネル。日本は大豆の94%を輸入しているが、それでも300万ト。中国の端数にもなっていない。まったく勝負になっていない状況だ。さらに最近分かったもう一つのたいへんな問題は、中国は今、戦争に備えて14億人の人口が1年半食べられるだけの穀物を備蓄すると世界中から買い占め始めた。このような事態がよく見込みがない。

片や日本の備蓄はどれだけあるのか。米を中心にせいぜい1・5カ月分。がんばっても2か月分しか無理だということ全くレベルが違う。日本は国内の米の生産力も十分あるんだからもうちょっと増産して備蓄すればいいはずだ。そうすればみんなが困ったときに食料を国内でちゃんと確保することができる。米はいま700万トちょっとしか作っていないが、日本の水田を全部利用すれば1万2千ト以上でできる。そうすれば1年半と

は言わなくても日本人がしっかりと1年くらいは食べられるだけの備蓄は米を中心にできる。そんな金がないから、お金のことを言えはばおしまいになるが、これこそよく考えてほしい。トマホークを買うのに43兆円も使うお金があるというなら、まず命を守る食料をしっかりと国内で確保するために、仮に何兆円使ってもそっちの方が先だ。こういう議論をきちんとやらなくてはならないのに、それが全然出てこない。

早く手を打たないと大変だと、私は早くから訴えてきた。しかし、日本政府は全然動かない。アメリカに叩き込まれた新自由主義、市場原理主義が頭にこびりついているのか、規制緩和すれば、貿易自由化すればみんなが幸せになれると言われて何十年もがばってきて、結局、農業も苦しんでいる。働いている人みんなが苦しんでいる。賃金が下がり、所得も下がり、結局、新自由主義は完全に間違っていたのだ。みんなを守るルールを破

もう一つたいへんなことが分かってきた。種の問題だ。野菜の種がどうなっているか。野菜の自給率は80%と言っているが、その種は海外の畑で9割採取してもらっている。だからコロナショックで種が来なくなってお

本場に種のことを計算に入れたら野菜の自給率は実質8%。これだけしか作れない。種が止まっても自分で種取して植えればいじやないかと思っても、それはダメ。野菜の種はほぼ一代雑種だから自分で種取しても同じものは出

来ない。だから皆さんが努力されているように、いかに国内の地域に伝統的な良い種を、在来種、固定種をしっかりと種取してみんなで循環させていくか、この仕組みをしっかりと確立しておかなければならないことになる。食料は命の源で、その

源は種だから。種を守るということの重要性がまた問われてきている。そこで、種も肥料も考えて自給率を計算し直してみる。37・6%とやっている自給率は、畜産のエサは8割が輸入だということはどこに組み込まれているか、肥料が止まったらどうなるか。今の普通の農業だと収量が半分になるとすれば、それだけで自給率22%で、さらに種が止まったら9・2%だ。日本人って、これだけの人生しか延びられないのかという数字になってくる。種については野菜だけじゃなくて、米や麦、大豆も海外に9割握られる

【次号に続く】

2023平和のつどい

鈴木宣弘さんの講演に学ぶ —女性会議ひょうご—

1(アイ)女性会議ひょうご(加納花枝、川辺比呂子共同代表)は12月23日、12月恒例の「平和のつどい」を、今回は会場が満席になる約120人が参加して鈴木宣弘さんの講演を聴いた。神戸市長田区



会場が満席になる約120人が参加して鈴木宣弘さんの講演を聴いた。神戸市長田区

「世界で最初に飢えるのは日本」をテーマに長田区文化センターで開いた。講師に同名の著書で注目を集める鈴木宣弘さん

つどいには約120人が参加し、YouTubeで録画配信も行った。本紙では講師と主催者のご厚意により講演要旨の抄録を連続で紹介する。【文責・見出しは編集部】

という想定をしてきた。そんなことないじゃないかと言われるかもしれないが、でも私たちはいま、そういう方向性に進んでいる。モンサント、バイエルとか、「種を制するものは世界を制する」と言い、世界中の種は自分のものにすると行って、それを買わないといけないような仕組みづくりを世界中でやろうとしている。でも世界の農家市民が猛反発して、苦しくなっている。苦しくなると、なぜか何でも言うことを聞く日本が儲けりゃいいじゃないかと、日本にいろんな要求が来る。



まず1977年、最新の乗り物と言え、ロケットやジェット機であるが、燃料を燃やしてその反作用で飛ぶという、きわめて原始的な乗り物ではないかと私は思う。これでは空間や時間をワープすることは到底できない。

まず1977年、最新の乗り物と言え、ロケットやジェット機であるが、燃料を燃やしてその反作用で飛ぶという、きわめて原始的な乗り物ではないかと私は思う。これでは空間や時間をワープすることは到底できない。



私のイチオシ映画は、「ニュー・シネマ・パラダイス」を取り上げたいと思う。1988年製作のイタリア映画だ。中年を迎えた映画監督が、映

私のイチオシ映画は、若い頃、妹とはじめて観に行つた「死刑台のメロディ」である。作品の紹介をしたい。1920年にアメリカ・マサチューセツ州

で実際に起こつた、イタリア移民によるとされる強盗殺人事件、サッコ・ヴァンゼッティ事件を史実に基づき映画化したものである。イタリア・フランスの合同作品で、

この映画は20歳で逝ってしまった妹と観に行つた想い出の映画であり、ジョン・バエズの歌声と共に、私にとっては忘れることのできない作品なのである。今もつづく冤罪事件。機会があればぜひ観ていただきたい映画だ。(シネマ翁)



引が主因である。当時のハリウッドは映像効果を高めるため、撮影現場にアスベストの粉塵が雪のように舞っていた。なんとというむごい事実か。(大坪)

スター・ウォーズ シリーズ(9作)

森山容光

現在、人類の科学はどのくらい発展しているのだろうか?これ以上発展したら、AIが人間にとって代わる時代がすぐにもやってきそな情報も聞かされてくる。ここ数百年の間に科学は目覚ましい発展を遂げてきたが、

果たしてどのくらい発展してきたのだろうか。何を基準に発展を考えたらよいのだろうか。現在、最新の乗り物と言え、ロケットやジェット機であるが、燃料を燃やしてその反作用で飛ぶという、きわめて原始的な乗り物ではないかと私は思う。これでは空間や時間をワープすることは到底できない。

観終わった時にまず感じたのは、とても感動することへの猛烈な後悔だ。映画好きを自称する自分にとって、この作品を見逃していたことは、痛恨の極みであった。

日本公開は1972年。靴屋を営むサッコと魚行商人のヴァンゼッティが、密告によって現金強盗殺人犯として逮捕される。2人には全く身に見えないも

印象に残った映画と言え、1963年に劇場公開された「大脱走」。当時、中学3年だった私は、悪友3人と旧の阪急会館で鑑賞した。舞台はドイツ北部の捕虜収容所。連合軍の脱走常習犯たちが集められる。脱出不可能と呼ばれるその場所でも逃げ出すことを諦めない男たち。やがて250人に及ぶ集団脱走計画が動き始める。捕虜の中にはさまざまなた特殊技能を有する者たちがいて知恵を絞る。身分証の偽造、逃走用の衣装製作、脱出用のトン

ニュー・シネマ・パラダイス

山本直樹

実は3年ほど前のシネマランドにもこの映画を紹介しているのだが、当時はコロナ禍の真っ最中で、新作映画が公開されておらず、過去の名作として上映されていたのが、この映画だった。日本公開は1989年だったが、私が観たのはその時が初めてだった。この映画の存在は知っていたが、何となく見そびれていたの

それと同時に、それまでのこの映画を観ていなかったことへの猛烈な後悔だ。映画好きを自称する自分にとって、この作品を見逃していたことは、痛恨の極みであった。

この映画は、当時の時代背景をもとに、バレエは女がするものというジエンダーの壁、それを挟んだ父親と息子の確執、夢を追い求める心、炭鉱のスト破り、そしてLBGTの視点も交え、それぞれの登場人物の心の葛藤やその変化がいていぬいに描かれている。500万ドルという低予算で作られたこのすばらしい作品は、ストーリーと役者の演技で成り立つという映画の基本を思い起こさせ

印象に残った映画と言え、1963年に劇場公開された「大脱走」。当時、中学3年だった私は、悪友3人と旧の阪急会館で鑑賞した。舞台はドイツ北部の捕虜収容所。連合軍の脱走常習犯たちが集められる。脱出不可能と呼ばれるその場所でも逃げ出すことを諦めない男たち。やがて250人に及ぶ集団脱走計画が動き始める。捕虜の中にはさまざまなた特殊技能を有する者たちがいて知恵を絞る。身分証の偽造、逃走用の衣装製作、脱出用のトン

私のイチオシ映画

I ♥ CINEMA

本紙4面に毎号連載している「シネマランド」の執筆陣は5人。映画好きの彼らが、「私のイチオシ映画」を実名で紹介してくれました。いずれもそれぞれの思いをもとに選ばれた名作。ぜひあなたも鑑賞を。

3が作られた。このあと、ウォルト・ディズニー社に引き継がれ、エピソード7、8、9が作られた。9の完成は2019年から、実に42年にも及ぶ映画製作であった。

読者のみなさんは、時間が空いてふらっと入った映画館で、何の予備情のほかに感動を覚えた経験がおありだろうか。私の場合、この「リトル・ダンサー」がまさにそれだった(実は数々の賞を取っていたのだが)。

この映画は、当時の時代背景をもとに、バレエは女がするものというジエンダーの壁、それを挟んだ父親と息子の確執、夢を追い求める心、炭鉱のスト破り、そしてLBGTの視点も交え、それぞれの登場人物の心の葛藤やその変化がいていぬいに描かれている。500万ドルという低予算で作られたこのすばらしい作品は、ストーリーと役者の演技で成り立つという映画の基本を思い起こさせ

颯爽と登場するシーンで映画は終わる。実に清々しいエンディングだった。長したヒリーが、舞台上で

リトル・ダンサー

渡辺修二



舞台は、1

この「リトル・ダンサー」がまさにそれだった(実は数々の賞を取っていたのだが)。

印象に残った映画と言え、1963年に劇場公開された「大脱走」。

大脱走

大坪正雄

颯爽と登場するシーンで映画は終わる。実に清々しいエンディングだった。長したヒリーが、舞台上で

寄稿

進んでほしい「ユニバーサルツーリズム」

門前喜康



門前喜康さん

兵庫県では、2023年の春、ユニバーサルツーリズムに特化した条例として全国初となる「高齢者、障害者等が円滑に旅行することができ環境の整備に関する条例（通称・ユニバーサルツーリズム推進条例）が公布された。具体的には、

高齢者や障がいのある人の旅先での宿泊や移動、入浴、排せつ、食事などの課題・問題をその地域の福祉事業所などのネットワークで解決しようというもの。

この旅行者としての高齢者や障がい者が旅先で抱えるさまざまな問題解決のために各関係機関をつないでコーディネートするのが、いま全国・兵庫県内各地にできつつある「ユニバーサルツーリズムセンター」である。

例えば、神戸ユニバーサルツーリズムセンターの実際の流れは次のよう

になる。各地のユニバーサルツーリズムセンターが利用者のさまざまな状態や要望の聞き取りを行い、その情報をもとに関係機関・施設事業所などへ必要な支援サービスを提供する。そのメニューを利用者にフィードバックして、センターと連携する旅行会社と協力し旅行が実施される。

これまでのプライバシーの問題もある。ユニバーサルツーリズムでは、介助のすべてを旅行先のネットワークで解決するので、介助が必要ない内容、必要な時間だけサービスを受ければよい。そして、介助する側が旅先の人であるので、その町の情報も豊富で快適な旅ができる。

さらにこのメリットは旅人に留まらない。ユニバーサルツーリズムで構築されるネットワークはその町にとっても有益だ。高齢者や障がい者が訪れたい安心、安全な町は、誰もが住みやすい町になる。

区に分割。整然とした街並みが形成された。写真の「明治維新開港当時開門跡」の碑は、居留地設置時に、居留地の安全と街道の監視、密貿易を防ぐために14か所に設けられた番所のうちの1つ。かつては三越神戸店の壁面に埋め込まれていた。

【メモ】JR神戸駅から南東に3分。元町本通り西出口南角。

王子公園・市民ミーティング実行委員会(以下、「市民ミーティング」)は基本協定締結に強く抗議する。2年前、神戸市は王子公園再整備計画の素案を提案したが、その素案の説明会は公報を通しての周知もなく一部の市民だけを対象とした、たった1日だけのものだった。その後、年末・年始を挟んでパブリックコメントが行われ、神戸市内外から多数の意見が出されたことを機に、神戸市は市民へのヒヤリングを何度か設定してきた。しかし、その内実は、「初めに大学誘致ありき」の既定路線を変えることな

神戸港西関門跡の碑

(神戸市中央区相生町)

諸外国との修好通商条約(1858年)によって200年続いた鎖国が解かれ、この国は大きく変容していく。神戸は、開港とこれに伴う外国人居留地の設置で大きく様

変わりする。神戸港の開港は1868(慶応3)年1月1日

あり、その施設が活用できることもあって選定されたようだ。

ちなみに、居留地は現在の東遊園地から大丸までの地域を22街区126

【メモ】JR神戸駅から南東に3分。元町本通り西出口南角。

ひょうご 74 碑物語

より西で、畑や砂地が広がっていたが、近くにかつての神戸海軍操練所が



神戸港の開港に伴い設置された外国人居留地の安全や監視等のために設けられた番所の跡を示す

王子公園再整備問題

大学誘致計画で神戸市と関学が基本協定締結

神戸市は昨年12月22日、王子公園再整備に伴う大学誘致計画をめぐり関西学院大学と基本協定を締結し、新キャンパスの開設に正式に合意した。計画では、関西学院は4千人規模の新たな学部を設置し、2029年から2031年の間に開校の予定とされる。

再整備計画、とりわけ大学誘致をめぐる計画発表当初からその内容や進め方について、さまざまな理由で多くの疑問や反対意見が出されて

きたが、計画の撤回と市民参画などを求めて署名運動や集会、神戸市への申し入れなどを重ねてきた「王子公園・市民ミーティング」実行委員会は

12月26日、改めて抗議の意も含めた申し入れを神戸市に行った。

同実行委員会代表の小林のみ子さんから、以下の「訴え」が寄せられた。

「王子公園・市民ミーティング」実行委員会(以下、「市民ミーティング」)は基本協定締結に強く抗議する。2年前、神戸市は王子公園再整備計画の素案を提案したが、その素案の説明会は公報を通しての周知もなく一部の市民だけを対象とした、たった1日だけのものだった。その後、年末・年始を挟んでパブリックコメントが行われ、神戸市内外から多数の意見が出されたことを機に、神戸市は市民へのヒヤリングを何度か設定してきた。しかし、その内実は、「初めに大学誘致ありき」の既定路線を変えることな

く、ただ単に「聞き置く」だけの繰り返しに過ぎなかった。総じて、王子公園再整備計画は、不十分な情報公開のもと、市民不在の不透明な政策決定プロセスで進められてきたと言える。

「市民ミーティング」は、再整備計画を進めるにあたり、当初より再三、市民参画を求めてきた。神戸市に市民参画条例はもちろん、それに類する仕組みがない以上、署名運動やミーティングを通して市民の声を把握し、その上で、神戸市への申し入れや神戸市議会への陳情等を重ねてきた。

また、「王子公園再整備を国の法律『都市公園法』の理念に基づき、再整備」と位置づけ、多額の税金を使わず、現エリアを縮

運動は「第2ステージ」へ

これからが未来への大分岐点

「市民ミーティング」は、再整備計画を進めるにあたり、当初より再三、市民参画を求めてきた。神戸市に市民参画条例はもちろん、それに類する仕組みがない以上、署名運動やミーティングを通して市民の声を把握し、その上で、神戸市への申し入れや神戸市議会への陳情等を重ねてきた。

また、「王子公園再整備を国の法律『都市公園法』の理念に基づき、再整備」と位置づけ、多額の税金を使わず、現エリアを縮

今、神宮外苑をはじめとした全国の公園で、次々と再開発・再整備により公園樹木の伐採が強化されている。昨年12月3日、経緯や背景に違いはあるものの、開発行政・環境破壊・行政主導という共通点を持った十数か所の団体が東京に集った。「市民ミーティング」もその一つとして参

加した。これらの団体が「つながる」ことで神宮外苑の運動を支えることができる。そして、それはまた、それぞれの団体の力にもなる、と考える。「市民ミーティング」は1月28日、「王子公園と神宮外苑をつなぐ大集会」を開催する(別掲チラシ)。



「1・28」つながる大集会」チラシ

新社会党中央本部新春旗開き ●1月26日(金)15時30分〜17時30分 ●新社会党兵庫県本部(リモート・サテライト会場) ●記念講演「沖繩・日本を戦場にさせない(仮題)」伊波洋一参議院議員 ※参加希望は事前に連絡を

労働大学・まなぶ新春講演会 ●1月28日(日)14時 ●神戸市・兵庫区文化センター ●講演「今こそ平和憲法を世界に貫け非武装中立の道」津野公男さん ●参加費8000円 ●主催:労働大学近畿支局、まなぶ友の会



関西学院大学が新キャンパスを建設する予定の王子スタジアム。公園の一角が100億円で売却されようとしている

連続して街宣・署名行動

2~3月には自治体への請願

介護保険の改悪に反対する兵庫の会



1回の行動では過去最高の137筆の署名が集まった。12月15日、JR六甲駅前

熱年者ユニオン(山崎会長)の呼びかけに、県内の7団体によ

て「史上最悪の介護保険改定に反対する兵庫の会」が昨年10月6日に結成され、県内各地で街頭宣伝と合わせて請願署名活動に全力を上げてきた。

政府が予定していた改悪案7項目については業界団体や自民党内部からの強い反対もあり、昨秋には、サービス利用時の2割負担や対象者の拡大などは24年度の導入をほぼ断念する事態になっている。

「兵庫の会」は、県内各地での30回を超える街宣行動・署名活動などで2千筆を超える署名を昨年末までに集約している。改悪を知らない高齢者や市民に「2割負担になる」とサービス利用を諦める

人が生まれる。保険料は年金から強制天引きされ、サービスが利用できないのは保険制度として認められない」などと丁寧に話しかけてきた。

厚労省への提出の關係で1月末と少し延期した。2~3月には、神戸市会などに第9期介護保険事業計画案についての保険料引上げの抑制や介護職の処遇改善などの陳情に取り組み。

厚労省への提出の關係で1月末と少し延期した。2~3月には、神戸市会などに第9期介護保険事業計画案についての保険料引上げの抑制や介護職の処遇改善などの陳情に取り組み。

「ガザ地区の虐殺をやめろ」

年末もスタンディング

フォーラム平和・人権・環境・ひょうご

イスラエル軍とイスラエル組織ハマスとの戦闘が始まって1月14日で100日になるが、イスラエルのガザ地区への学校や病院をも含む無差別攻撃はやまない。パレスチナの死者は2万人を超えた。犠牲者の圧倒的多数は市民であり、そのうち子どもが4割だ。世界各地でこうした攻撃への抗議行動が行われるなか、南アフリカがイスラエル軍の攻撃がパレスチナ人に対するジェノサイド(集団殺害)にあたるとして国際司法裁判所に提訴していた訴訟の審理も11日に始まった。

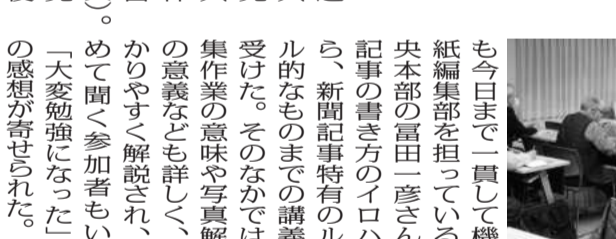
市民党の大橋ゆうこ参議院議員(厚生労働委員会委員)を招き、介護労働者の実態や介護保険の問題を共有し、介護保険制度の改革について議論する交流会も3月に予定している。(菊地)



年末もJR元町駅前ではスタンディング=2023年12月26日

日本各地でも市民らによる抗議と即時停止を求める行動が行われているが、神戸でもフォーラム平和・人権・環境・ひょうごが11月7日から毎週火曜日の夕刻、JR元町駅前で行ってきた抗議の即時停止を求め

「新聞記事の書き方」講座を開催 12・22 新社会党兵庫県本部



も今日まで一貫して機関紙編集部を担っている中央本部の富田一彦さん。記事の書き方のイロハから、新聞記事特有のルーティンなものまでの講義を受けた。そのなかでは編集作業の意味や写真解説の意義なども詳しく、分かりやすく解説され、初めて聞く参加者もいて「大変勉強になった」と感想が寄せられた。

地域ユニオン 425 あちこちあれこれ

昨年11月22日、厚生労働省主催の過労死等防止対策シンポジウム(兵庫会場)が神戸市産業振興センターで開催され、参

加してきた。冒頭、ある過労死遺児の歌「ぼくの夢」の音楽が流れ、「タイムマシンに乗ってお父さんの死んでしまっ前の日に行って、仕事に行ったらあかんで言っんや」という子どもの切なる願いからシンポジウムは始まった。

主催者等のあいさつが兵庫労働局、兵庫県、神戸市から順にあった。「過労死等防止対策推進法」が施行されて今年

299万人もいるとこのことを国民一人一人に広く関心と理解を深めてもらう取り組みを進めている。

シンポジウムでは、企業からの取り組み事例と(ケア)の観点から「性の向上につながった話があった。

基調講演では、高野山大学の森崎教授から「ねぎらいと働き—心配り」

「過労死等防止対策推進法」が施行されて今年299万人もいるとこのことを国民一人一人に広く関心と理解を深めてもらう取り組みを進めている。

過労死シンポジウムに参加

で10年を迎える。この間、時間外労働上限規制の制定やパワーハラスメント防止に関する労働施策総合推進法の改正等、過労死防止の取り組みが実施

と。なんと多くの方が過労死ラインで働いているのか驚いた。また、毎年11月を「過労死等防止啓発月間」と定め、過労死等を防止す

して、株式会社成田から「仕事滞留を防ぎ残業削減、地球に寄り添える会社」と題して発表があり、残業削減が会社内の人間関係の好循環や生産

と題し、生きるとはどういうことなのかや命について熱く語られた。「私たちが疲れるんです。他者からの励ましも必要だし、労いも必要な生きものなんです。この生きものという認識が労働市場にど

と題し、生きるとはどういうことなのかや命について熱く語られた。「私たちが疲れるんです。他者からの励ましも必要だし、労いも必要な生きものなんです。この生きものという認識が労働市場にど

今年もよろしくお願ひします。

旧年中は、ご愛顧ありがとうございました。特に、年末の集中物販については、取り扱いを復活できたホタテを中心に、たくさんのご注文をいただき、御礼申し上げます。今年も、働く人たちや原発事故被災者を支えて活動する団体への寄付をさせていただくことが出来ます。今年もお米を中心に、もち麦や味噌、あらめなど大切にしたい食品をお届けします。気候異常などが続きますが、生産者の方々と「食べる」ことを大事に取り組みますので、よろしくお願ひします。

毎月お届けしています

でかんしよ米 (小多田屋米穀店)

10キロ 5,400円 / 5キロ 2,700円 / 3キロ 1,640円

ささや米 (耕しや/阪東農園)

10キロ 5,200円 / 5キロ 2,600円 (玄米10キロ 4,900円 / 5キロ 2,450円) / もち麦麺 (3把入り) 700円 / もち麦精麦 (600g) 700円



(有)pii-pur 電話/ファックス 078(531)0135

おんなの目

13年前に早期退職してから、ご近所と仲良くしていただいていた。今年還暦の方から70代まで6人。徒党を組んで、新年会や焼肉パーティー、おでん、タコ焼き、餅つきなどを開催、周囲からは「あの画は昭和の下町やな」とさやかれていま。

保険、税金…納めてきたが

料や年金保険料、所得税に住民税と沢山納めてきました。いざ高齢になって体も弱り働けなくなると、高年齢者が多いからね。若者が少ないから費用が足りないんだ」と言われ、満足な医療や介護、年金が受け取れないなんに「行ってない人も、ずっと税金を払ってこれた。その税金で建てた高校へ行かせてもらうのだから」

そう、学校だけでなく水道や道路など生活を支える社会資本の多くは、税金や健康保険料・年金保険料(財政投融資)で作られてきた。先の世代のお金で次の世代を育て生活を支えてきた。先の世代は老後、返してもらおうという仕組みです。いや、予想外の少子化が進んでお金が集まらないのです、なんて言っているお役人！少子化だけが原因ですか？

健康保険料・年金保険料は正社員なら半額を雇用者が負担します。非正規雇用なら雇用者負担分がない。この20年で非正規雇用は4割を越えました。企業の社会保険負担分が減ったことも、財源不足の一因ではないでしょうか。

また親の介護や自分の老後を考えて、結婚や出産を諦めている人もいます。3年生にこう呼びかけていました。「まず近所のおじさんやおばさんに高校受験させてもらいますとあいさつに行け。高校(十旧制中学校や女学校)



(半澤恵子)

『台湾有事 日本を選択』

田岡俊一著／朝日新書／790円＋税

著者は冒頭で、「他国領土の一部を分離独立させようとして武力でウクライナに侵攻するロシアは国際法違反であり国連総会での非難決議は当然である」と述べている。アメリカで反中国強硬派の国会議員が台湾の独立を煽り、それに乗った台湾の独立派が決起し、アメリカ軍が介入して大戦争になれば、ロシアがウクライナで行っていることと同じになり、そこに日本が参戦すればベラルーシと同じ役割を演じることになる」と述べている。

日本政府はこの間、「台湾有事」の勃発に備え防衛費を約2倍に増大し、敵基地攻撃能力としてトマホークの購入やアメリカ軍と自衛

隊の連携強化を図っていると指摘している。しかし一方でこれらの動きは、アメリカと日本が、1972年から始まった中国との国交正常化協議で、中華人民共和国が中国の唯一の合法政府であることを承認し、台湾は中国の一部であるとの中国の立場を、アメリカ

ベテラン軍事評論家が健筆

析し、紛争が起こった時の被災状況についても示している。

さらに第4章「つづられた危機」では、法と秩序をとなえるアメリカが、はたして第2次大戦後、「日米安保条約」で日本を守ったのかと疑問を呈し、それは一種の信仰、幻覚にすぎないと述べ、ベトナム戦争やアフガン侵攻、湾岸戦争、さらにイラク攻撃など国連軽

視のアメリカの戦争についてその経過を検証し、厳しく非難している。

著者は以前は軍事評論家としてよくテレビなどのマスコミで見かけたが、昨今の日本の右傾化の影響が最近あまり見かけなくなってきた。本書の最後でこのように述べている。「80歳を超え『もう引き時だな』と思ったが最後の仕事が残っていた。日本が必ずや中国との戦争に向かい、安全保障上も経済的にも破滅的な損害を被るのを知りつつ座視するに、軍事評論家を60年近く職務としてきた者として無責任だ。残る微力を尽くし、もし米中戦争が起きたとき参戦することの大義の有無、今日の米中対立に似た第1次世界大戦の教訓、中国対米日の戦力比、日本が被る人的、経済的損害などを考えてみた」。

この原稿が読まれるときは、1月13日に行われる台湾総統選挙の結果がすでに出ているが、本書の中身はしっかりと受け止めたい。(山田 誠)

PERFECT DAYS

2024年の新年が始まった途端、大地震が能登半島を襲った。神戸でも揺れを感じるほどで、阪神・淡路大震災の記憶が脳裏をかすめる。一夜明けると被災地は家屋の倒壊、道路の寸断、津波の襲来など、被害がとてつもなく甚大であることが明らかになった。

主役は平山(役所広司)という男性で、東京都内でトイレ清掃員として働く彼の毎日を描く。古色蒼然としたアパートに住み、早朝に起床し、小さな苗木に水を差し、清掃用具一式を積み込んだ車を駆って何か所ものトイレを回って丁寧に磨きあげてゆく。

入した結果だ。それはともかく、自転車で銭湯に行き、コインランドリーで洗濯を済ませる。

夜は浅草の地下にある食事処で簡単な飲食をして帰宅。就寝前には読書を必ず行い眠りに就く。明けても暮れてもその繰り返しが淡々と続く。

主役は無口でセリフもほとんどなく、趣味もフィルムカメラで木々がたくる木漏れ日を撮り、そのフィルムを写真店に持ち込み、現像、プリントし、それを年代別に保存する。

一見平凡な生活にも波風は立つ。同僚が突然退職したり、妹の娘が転がり込んだり、行きつけの小料理屋のママの前に夫が現れたり。このマ



マを石川さゆりが演じており、客のリンクエストで歌うアニマルズの「朝日のあたる家」は何故か演じ浮かんだ。

この原稿を書き終えるとき、何故か「おかげたいやきくん」の歌詞が思い浮かんだ。

(大坪)

シネマランド

カンヌ国際映画祭で役所広司が男優賞受賞

監督はウィム・ヴェンダース/2002年/日本、ドイツ/124分

この原稿を書き終えるとき、何故か「おかげたいやきくん」の歌詞が思い浮かんだ。

(大坪)